

発電用原子炉施設故障等報告書

平成28年3月18日

東京電力株式会社

件名	柏崎刈羽原子力発電所5号機 定期検査中における制御棒1本の予期せぬ動作について
事象発生の日時	平成28年3月8日15時23分(操作していない制御棒の動作と判断)
事象発生の場所	柏崎刈羽原子力発電所 5号機
事象発生の 発電用原子炉施設名	計測制御系統設備 制御材駆動装置 制御棒駆動機構
事象の状況	<p>5号機は第13回定期検査中のところ、平成28年3月8日14時8分、制御棒駆動水圧系水圧制御ユニット(以下、「HCU」という。)の復旧作業中に中央制御室において「制御棒ドリフト」警報が発生した。</p> <p>中央制御室の運転員は、炉内に全燃料が装荷されている状態であったため、直ちに中性子源領域モニタ(SRM)の指示に変動がないことを確認するとともに、「全挿入・全引抜・ドリフト表示」を確認したところ、185本ある制御棒のうちの1本(30-55)に「全挿入」および「ドリフト」ランプが点灯していることを確認した。その後、制御棒位置表示器の指示を確認したところ全挿入位置「00」ポジションであることを確認した。</p> <p>また、警報発生時に現場運転員が当該制御棒(30-55)のHCU復旧作業中であったことが確認されたことから、当該制御棒が実際に全挿入位置「00」ポジションより更に挿入側に動作し復帰したものと判断し、同日15時23分に操作していない制御棒の挿入動作による、実用炉規則第三百三十四条第十三号に該当するものと判断した。</p> <p>なお、本事象による外部への放射能の影響はなかった。</p>
事象の原因	調査中
保護装置の種類 及び動作状況	該当せず
放射能の影響	なし
被害者	なし
他に及ぼした障害	なし
復旧の日時	未定
再発防止対策	事象の原因調査を踏まえ、必要な対策を行うこととする。